

川崎市立川崎病院通信



川崎市立川崎病院
シンボルツリー



川崎市立川崎病院の基本理念

私たちは、地域の基幹病院として、他の医療機関と連携し、「病気」でなく「病人」を診る心を大切に、安全安心で質の高い医療を、患者の皆さんとともに考え、実践し、健康と福祉の向上を通じて地域社会の発展に貢献することを目指します。

患者さんの権利や
病院運営方針はこち
ら



令和8年11月中旬(予定)に 救命救急センターの新棟をオープンします！

救命救急センター所長の上野です。

平成30年に策定した「医療機能再編整備基本計画」に従い、救急医療の需要増加などに対応するため、現在の建物の裏手に新棟を建設中です。令和8年8月10日に工事を完了し、11月中旬頃にオープンする予定です。

1階で救急車の受け入れを行い、入院治療が必要な場合はそのまま2階の病棟で治療を継続できるため、患者さんの受け入れから治療までが一体化されることにより、ますます切れ目のない医療の提供が可能になります。

完成までもうしばらく工事が続き、皆様にはご不便をおかけいたしますが、市の基幹病院として地域貢献ができるように前進していきますので、引き続き、ご理解ご協力のほどよろしくお願いします。



知って防ごう！インフルエンザ

ワクチン接種と感染対策が予防の柱です

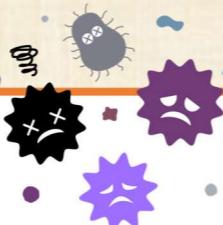
インフルエンザは毎年繰り返し流行する身近な感染症ですが、重症化の危険性を伴う疾患です。正しく理解し、適切に予防と治療をすることにより、社会全体で被害を最小限に抑えることができます。

インフルエンザにかかるためには？

予防の柱はワクチン接種と感染対策です。

インフルエンザワクチンは流行が予想される株に合わせて毎年製造されます。重症化や合併症を防ぐ効果があるため、特に、**高齢者や基礎疾患を持つ人、小児、医療従事者**は接種が推奨されています。

毎年流行の始まる前（10月下旬から12月上旬頃）に接種することが最適です。



感染対策って、どうするの？

重要！

- ・手をよく洗うこと
- ・咳エチケット
- ・十分な睡眠と栄養による免疫力維持



流行期には人混みを避け、マスクを着用しましょう！

発症した場合には早めに休養をとり、拡大を防ぐことが望まれます。

かかってしまったら？

治療には抗インフルエンザ薬の投薬と対症療法があります。抗インフルエンザ薬には内服薬や吸入薬、注射薬があります。いずれの薬剤も、投与するなら発症後48時間以内に投与を開始する必要があります。投与により、症状の持続期間を短縮したり、重症化を予防する効果が期待できます。対症療法として解熱薬や水分補給、安静により体力を回復させることも大切です。



コラム

インフルエンザって？

インフルエンザウイルスによって引き起こされる急性の呼吸器感染症です。

毎年冬季を中心に流行します。

原因となるウイルスはA型、B型、C型に分類されますが、季節性に流行するのはA型とB型です。



ウイルスは気道粘膜に感染し、1～3日程度の潜伏期を経て、38°C以上の高熱と関節痛や筋肉痛などの全身症状で発症します。全身症状を伴う点で、通常の風邪とは区別されます。

どうやって感染するの？

飛沫感染と接触感染が主で、学校や職場など人が集まる場所で拡散しやすく、集団感染をきたすこともあります。



どんな症状がでるの？

典型的な症状は悪寒を伴う38°C以上の高熱と頭痛・関節痛・筋肉痛・全身倦怠感などの全身症状です。さらに咳・鼻水・咽頭痛といった呼吸器症状を伴います。

通常5～7日ほどで軽快しますが・・・

小児では、けいれんや中耳炎が合併することもあります。

高齢者や基礎疾患を持つ人では、二次的に細菌感染による肺炎や心不全などの合併症を併発し、重症化することがあります。



抗菌薬(抗生素)はウイルスには効果はありません。細菌による感染症が合併した場合に限り使用されます。

外来心臓リハビリテーション開設のご案内

2025年4月から



外来心臓リハビリテーションの実施には医師の診察と指示が必要です。窓口はリハビリテーション科です。

心臓リハビリテーションとは？

運動療法・生活指導・栄養指導・薬剤指導などの総合プログラムを行い、低下した体力を回復し、心臓病の再発を予防します。

入院中の治療だけでなく在宅復帰後の継続的なリハビリテーション(外来)が重要です。



運動療法の効果

運動療法を実施することで心疾患のある方の生存率が改善したという研究があります。

外来心臓リハビリテーションの効果

- ① **運動能力**が増加、心臓への負担が軽減し、楽に動けるようになる。
- ② 心臓病の原因の**高血圧症**、**脂質異常症**、**糖尿病**などが是正される。
- ③ 狹心症や心不全の**症状**が軽減する。
- ④ **不安**や**抑うつ**が改善し快適に生活ができる。
- ⑤ **血管内皮機能**(血管が広がる能力)や、**自律神経機能**が改善する。
- ⑥ 将来の**再入院率**が減少する。



当院の外来心臓リハビリテーション

外来リハビリテーション実施時間

毎週木曜日 14:30～15:30
15:30～16:30
(2025年11月現在)

運動療法の流れ(約1時間)

- ```
メディカルチェック
↓
ウォーミングアップ
↓
筋力トレーニング
↓
有酸素運動
↓
クールダウン
↓
メディカルチェック
```

### 診察前に マイナンバー カード

ご来院の都度、受診前に、各診療科の受付や1階総合案内近くにあるカードリーダーに、マイナンバーカードをかざしてください。

本誌は  
ホーム  
ページで  
読めます

